

学修者本位の教育を実質化する 響学スパイラルの推進と FD・IRのあり方について

武蔵野大学は、ブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」を実現する人材の育成と輩出を目指して、新たな教育手法「響学スパイラル」を開発し、その推進とFD・IRの中心を担う組織として響学開発センターを設置しました。

響学開発センター開設記念シンポジウムは、本学のこれまでの取り組みを踏まえ、学外有識者の見識等を取り入れることにより、効果的な響学スパイラルにつながるFD・IRのあり方を探る機会として開催いたします。

日時 2024年 **3月9日(土)** / 14:00~17:00

場所 <対面実施> 武蔵野大学有明キャンパス3号館3-301教室

プログラム

14:00-14:10 開会挨拶



鈴木 克明
武蔵野大学
響学開発センター長

14:10-14:25 事例紹介1



響学スパイラルと
響学開発センターの取り組み
長 創一朗
武蔵野大学
響学開発センター次長

14:25-14:45 事例紹介2



響学スパイラルの学科での
取組事例紹介
ーキャリア教育を中心に
矢澤 美香子
武蔵野大学
人間科学部教授
(キャリアセンター長)

14:45-15:15 講演1



学生と協奏するFD:
学生参画で具現化する
「四弘誓願」の理念
田中 正弘
筑波大学
教学マネジメント室准教授

15:15-15:45 講演2



多様な「学びのカタチ」を
描き出すIR
ー入試から卒業までー
木村 拓也
九州大学
人間環境学研究院
教育部門教授

15:45-16:00

休憩・質問受付

16:00-16:50

パネルディスカッション

16:50-17:00

閉会挨拶

FDやIRに携わる方だけではなく、高等教育関係者の方、
大学生・大学院生、本学卒業生、高等学校の先生方や
企業の方など多くの方のご参加をお待ちしております。

事前申し込み

申込
締切

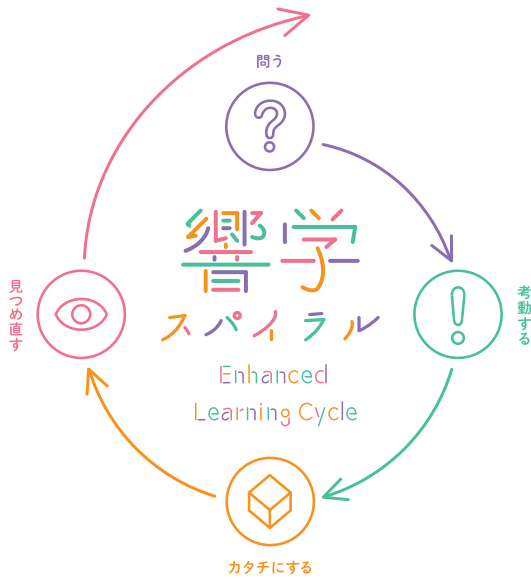
2024年
3月7日(木)

申し込みはこちら ▶



響学スパイラル The Enhanced Learning Cycle とは？

武蔵野大学が全学一貫で取り組む本学独自の学修法。4つのステップ「問う」⇒「考動する」⇒「カタチにする」⇒「見つめ直す」という一連の活動を繰り返しながらともに学び、成長していく学びのスタイル。

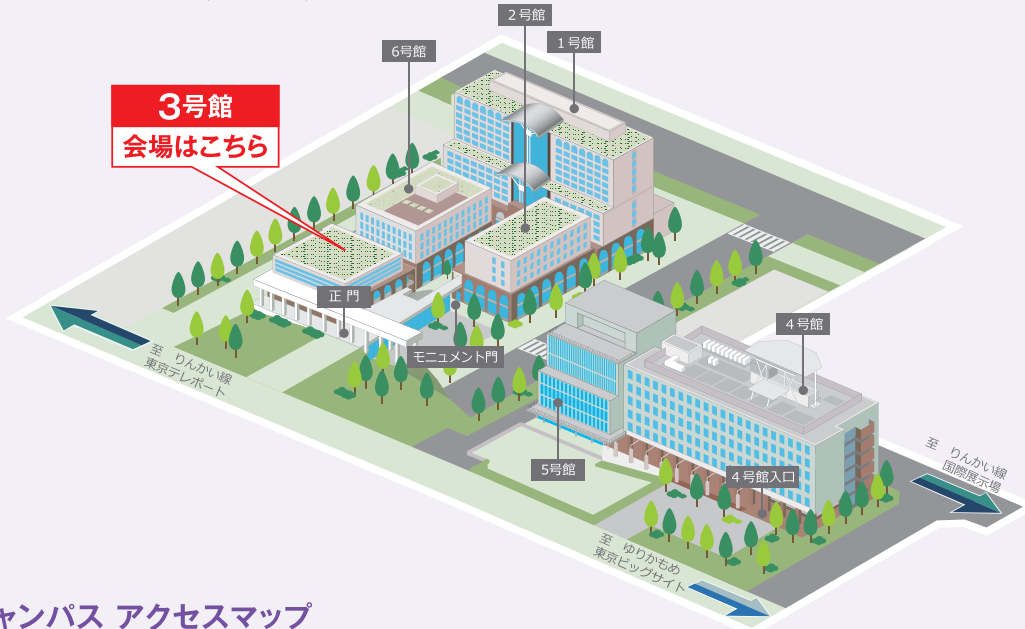


各ステップに該当する学修活動の事例

項目	内容	例
響学	学生、教職員、社会人等が感性、知恵、響創力を互いに響き合わせながら学んでいく	グループワーク、グループディスカッション、ディベート、ペアワーク、ピアラーニング、Project Based Learning(PBL)、異文化交流 等
問う	自らの問題意識に基づき、多様な思考で問いを設定し、自分事として向き合う	クリティカルシンキング、課題発見、課題形成、目標設定 等
考動する	問いに対して主体的かつ協働的に「考える」、「行動する」の双方を実施し、トライ＆エラーを繰り返しながら知識を深め知恵を生み出す	ロジカル／クリエイティブ／デザイン思考、情報収集、分析、ディスカッション、制作、モックアップ制作、プロトタイプ制作、実験、観察、体験学習、留学 等
カタチにする	学んだ知識やスキルを成果としてカタチにすることで、他者と共有し伝える	レポート、論文、プレゼンテーション、報告書、図解、作品、提言、プログラミング、実践事例、イベント開催 等
見つめ直す	アウトプットの成果を多角的に評価し、問題を明らかにして改善策を見出し、次なるアクション(問いから始まるスパイラル)につなげる	自己評価、メタ認知、相互評価、他者評価・外部評価とそのフィードバック、ポートフォリオ、ルーブリック評価、アセスメントテスト、授業アンケート 等

会場案内

◆有明キャンパス マップ(構内図)



◆有明キャンパス アクセスマップ

